



稲川勝憲議員

道路行政

山高前から礼堂までの整備は

財政が厳しく難しい

答えている。

このことは、現在も変わっていないが、用地買収がおおむね完了し、県代行事業として要望している町道細浦柳沢線を優先すべきであると考えている。

また、現下の財政状況で早期に計画することは、極めて難しい状況にあることを理解願う。

会において、「重要な生活路線であり通学路線でもあることから、改良整備の必要性は十分認識している」と

質問 平成23年度から始まる第8次山田町総合発展計画の後期基本計画(5年間に、町道織笠外山線の延長整備が盛り込まれていないようであるが、この路線は

小中高生の通学路で、県北バスの通行や猿神、馬指野、田子の木、外山地区から国道45号へ接続する路線であり、山田斎場へ通じる重要路線である。

未整備区間の山田高校前から礼堂の館神地区までの1・5キロメートルについて、早急に国、県補助の導入を探り、延長整備を図るべきと思うが。

沼崎町長 この区間については、平成19年第2回定例

町有地対策

織笠コミュニティプールの土地利用は

関係課等と協議

質問 織笠コミュニティプールは、平成17年6月に廃止され、ろ過装置や更衣室等は解体、撤去されているが、プール本体のコンクリートやプールを囲むフェンスは残ったままである。

プールが廃止されてから5年を経過しているの、これを解体、撤去し、今後の土地有効利用を図るため更地にすべきと思うが見解を示せ。

岩船教育長 これまで解体、撤去および有効利用について

て検討し、安全確保等の維持に努めてきたところである。

今後も周辺環境整備に努めながら、土地の有効利用の可能性について、関係課ならびに関係機関と協議していきたいと考えている。

質問 織笠コミュニティプールを担当課長は見たとがあるか。

舟田生涯学習課長 担当者から経過や現状については聞いています。先日、教育長に同行し見てきた。



雪が積もるとさらに道幅が狭くなります(町道織笠外山線)

議員10人が一般質問